

JOSEPH W. PRICE  
ALBIN H. GESS  
MICHAEL J. MOFFATT  
GORDON E. GRAY III  
BRADLEY D. BLANCHE  
J. RONALD RICHEBOURG

OF COUNSEL  
JAMES F. KIRK

# PRICE AND GESS

ATTORNEYS AT LAW

2100 S.E. MAIN STREET, SUITE 250

IRVINE, CALIFORNIA 92614-6238

A PROFESSIONAL CORPORATION  
TELEPHONE: (949) 261-84  
FACSIMILE: (949) 261-907  
FACSIMILE: (949) 261-1726

e-mail: jwp@pgpatentlaw.com



#2  
T.D.  
03/13/02

## PRIORITY DOCUMENT - JAPAN 2000-166613

Applicant(s): Nobukazu Kurauchi et al.

Title: Broadcast Program Transmission/Reception System.  
Method for Transmitting/Receiving Broadcast Program,  
Program that Exemplifies the Method for  
Transmitting/Receiving Broadcast Program, Recording  
Medium that is Readable to a Computer on which the  
Program is Recorded, Pay Broadcast Program Site, CM  
Information Management Site, and Viewer's Terminal

Docket No.: NAK1-BQ35

**"EXPRESS MAIL" MAILING**

**LABEL NO. EL 873069332 US**

**DATE OF DEPOSIT: November 5, 2001**

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE NAK1-BQ35



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 6月 1日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-166613

出 願 人

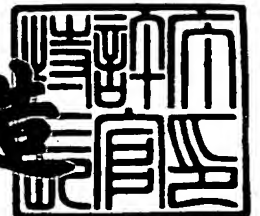
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

2001年 8月24日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3075495

【書類名】 特許願

【整理番号】 2968130003

【提出日】 平成13年 6月 1日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G09F 27/00  
H04H 1/00  
H04N 7/173

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区栄2丁目6番1号白川ビル別館5階  
株式会社松下電器情報システム名古屋研究所内

【氏名】 倉内 伸和

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式  
会社内

【氏名】 梶本 一夫

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-340005

【出願日】 平成12年11月 8日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 番組放送送受信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 有料番組に広告主の CM を挿入して、広告主より広告料を得る代わりに視聴者の視聴料を割り引く番組放送送受信システムにおいて、

映像音声情報を受信する映像音声受信手段と、

前記映像音声受信手段で受信した映像音声情報を蓄積する映像音声情報蓄積手段と、

前記映像音声情報蓄積手段に蓄積された映像音声情報を送信可能な映像音声送信手段と、

前記映像音声送信手段より送信された映像音声情報の送信数を累積して計測する映像音声情報送信数計測手段を備えることを特徴とする番組放送送受信システム。

【請求項 2】 前記映像音声情報蓄積手段に蓄積された映像音声情報は有料番組または CM であり、

前記映像音声情報蓄積手段に蓄積された有料番組の任意の個所に CM を挿入可能な映像音声情報編集手段

を備えることを特徴とする請求項 1 記載の番組放送送受信システム。

【請求項 3】 前記映像音声情報蓄積手段は映像音声情報に含まれる有料番組毎の有料番組数をも保持可能であり、

前記映像音声編集手段は編集した映像音声情報に含まれる有料番組毎の有料番組数を前記映像音声情報蓄積手段に記録し、

前記映像音声情報送信数計測手段は前記映像音声送信手段より送信された映像音声情報に含まれる有料番組毎の有料番組数を前記映像音声情報蓄積手段より取得し、前記有料番組数を有料番組毎に累積して計測する

ことを特徴とする請求項 2 記載の番組放送送受信システム。

【請求項 4】 前記映像音声情報蓄積手段は映像音声情報に含まれる CM 毎の CM 数をも保持可能であり、

前記映像音声編集手段は編集した映像音声情報に含まれる CM 毎の CM 数を前

記映像音声情報蓄積手段に記録し、

前記映像音声情報送信数計測手段は前記映像音声送信手段より送信された映像音声情報に含まれるCM毎のCM数を前記映像音声情報蓄積手段より取得し、前記CM数をCM毎に累積して計測する

ことを特徴とする請求項2または請求項3記載の番組放送送受信システム。

【請求項5】 前記映像音声受信手段は有料番組サイトで蓄積される有料番組を受信可能であり、

視聴者に提供可能な有料番組一覧を管理する番組一覧管理手段と、

前記番組一覧管理手段で管理される有料番組一覧を視聴者の家庭端末に送信可能な番組一覧送信手段と、

視聴者の家庭端末から送られる有料番組取得要求を受信可能な有料番組取得要求受信手段と、

前記有料番組取得要求受信手段で受信した有料番組取得要求で指示される有料番組の取得要求を送信可能な有料番組取得送信手段

を備えることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の番組放送送受信システム。

【請求項6】 前記番組一覧管理手段は有料番組に挿入可能なCM一覧をも管理し、

前記番組一覧送信手段は前記番組一覧管理手段で管理されるCM一覧をも送信可能であり、

前記有料番組取得要求受信手段は視聴者に選択された視聴者選択CM一覧をも受信可能であり、

前記映像音声編集手段は前記有料番組取得要求受信手段で受信した有料番組取得要求で指示される有料番組に、前記視聴者選択CM一覧に含まれるCMを挿入する

ことを特徴とする請求項5記載の番組放送送受信システム。

【請求項7】 前記映像音声情報編集手段は前記視聴者選択CM一覧に含まれるCM毎のCM数を有料番組に挿入した数を、編集結果の映像音声情報に含まれるCM毎のCM数として前記映像音声情報蓄積手段に保持し、

前記映像音声情報送信数計測手段で計測された全CMの送信数の合計を算出可能なCM送信数合計算出手段と、

前記CM送信数合計算出手段により算出された全CMの送信数の合計と各CMの送信数からCM毎の送信数割合を算出可能なCM送信数割合算出手段を備えることを特徴とする請求項6記載の番組放送送受信システム。

【請求項8】 前記番組一覧管理手段は各CM毎の付加情報をも管理し

前記番組一覧送信手段は前記番組一覧管理手段で管理される各CM毎の付加情報をも送信可能である

ことを特徴とする請求項6または請求項7記載の番組放送送受信システム。

【請求項9】 前記番組一覧管理手段はCM毎のポイント数をも管理し、

前記番組一覧送信手段は前記番組一覧管理手段で管理されるCM毎のポイント数をも送信可能である

ことを特徴とする請求項6から請求項8のいずれか一項に記載の番組放送送受信システム。

【請求項10】 有料番組に広告主のCMを挿入して、広告主より広告料を得る代わりに視聴者の視聴料を割り引く番組放送送受信方法において、

CM挿入済み有料番組を視聴者に送信する際、CM挿入済み有料番組毎のCM挿入済み有料番組送信数を累積して計測し、

前記CM挿入済み有料番組送信数に応じて、有料番組を保有する有料番組サイトに使用料を支払い、CMの広告主から広告料を請求する

ことを特徴とする番組放送送受信方法。

【請求項11】 前記CM挿入済み有料番組を有料番組及びCMから編集して作成する際、

前記CM挿入済み有料番組に含まれる有料番組毎の有料番組数を記録し、

前記CM挿入済み有料番組に含まれるCM毎のCM数を記録する

ことを特徴とする請求項10記載の番組放送送受信方法。

【請求項12】 前記CM挿入済み有料番組送信数を累積して計測する際、

前記CM挿入済み有料番組に含まれる前記有料番組毎の有料番組数から有料番組送信数を有料番組毎に累積して計測し、

前記有料番組送信数に応じて、有料番組を保有する有料番組サイトに使用料を支払う

ことを特徴とする請求項 1 1 記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 3】 前記CM挿入済み有料番組送信数を累積して計測する際、前記CM挿入済み有料番組に含まれる前記CM毎のCM数からCM送信数をCM毎に累積して計測し、

前記CM送信数に応じて、CMの広告主から広告料を請求する

ことを特徴とする請求項 1 1 または請求項 1 2 記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 4】 前記CM挿入済み有料番組を視聴者に提供する際、提供可能な有料番組一覧を視聴者に提示し、前記有料番組一覧から選択された有料番組を前記CM挿入済み有料番組に挿入する

ことを特徴とする請求項 1 0 から請求項 1 3 のいずれか一項に記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 5】 前記CM挿入済み有料番組を視聴者に提供する際、有料番組に挿入可能なCM一覧を視聴者に提示し、前記CM一覧から選択されたCMを有料番組に挿入して前記CM挿入済み有料番組を作成する

ことを特徴とする請求項 1 4 記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 6】 前記CM挿入済み有料番組に含まれる前記CM毎のCM数は、前記CM一覧から視聴者によって選択された視聴者選択CM一覧に含まれるCMを前記CM挿入済み有料番組に挿入した数であり、

前記CM送信数に含まれる全CMの送信数を全CM送信数として算出し、前記全CM送信数と前記CM毎のCM送信数からCM毎の送信割合を算出し、前記CM毎の送信割合をCM視聴率として広告主に提供する

ことを特徴とする請求項 1 5 記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 7】 前記CM一覧はCM毎の付加情報を含み、視聴者が前記CM一覧からCMを選択する際、前記CM毎の付加情報を提示する



ことを特徴とする請求項 1 5 または請求項 1 6 記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 8】 前記 CM 一覧は CM 毎のポイント数を含み、

視聴者が前記 CM 一覧から CM を選択する際、前記 CM 一覧から視聴者によって選択された前記 CM 毎のポイント数の合計に応じて前記 CM 挿入済み有料番組の提供を開始する

ことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 7 のいずれか一項に記載の番組放送送受信方法。

【請求項 1 9】 有料番組に広告主の CM を挿入して、広告主より広告料を得る代わりに視聴者の視聴料を割り引く番組放送送受信システムの CM 情報管理サイト制御プログラムを記録した媒体であって、

制御プログラムは CM 情報管理サイトに、映像音声情報を受信させ、

受信した映像音声情報を蓄積させ、

蓄積させた映像音声情報を送信させ、

送信させた映像音声情報の送信数を累積計測させる

ことを特徴とする CM 情報管理サイト制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項 2 0】 有料番組の著作権保有者である有料番組サイトと有料番組を小売する権利を受けた有料番組小売サイトからなる番組放送送受信システムであって、

有料番組の小売を許諾された有料番組小売サイトを認証するための認証情報蓄積手段と、

前記認証情報蓄積手段で蓄積する認証情報と有料番組小売サイトから送られる認証情報を比較し、前記有料番組小売サイトが有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する認証情報許諾手段

を備えることを特徴とする番組放送送受信システム。

【請求項 2 1】 前記有料番組の映像音声情報は小売される度、前記有料番組サイトから視聴者の家庭端末に配信されるか、

前記有料番組小売サイトの揮発性記憶媒体にのみ記憶されるか、

前記有料番組小売サイトの不揮発性記憶媒体に記録される場合、前記有料番組の小売毎に前記不揮発性記憶媒体から消去される

ことを特徴とする請求項 2 0 に記載の番組放送送受信システム。

【請求項 2 2】 前記認証情報には前記有料番組小売サイトと前記有料番組を購入する視聴者の家庭端末の配信形態を表す配信形態情報が含まれ、

前記認証情報蓄積手段は前記配信形態情報も蓄積し、前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 0 または請求項 2 1 のいずれか一項に記載の番組放送送受信システム。

【請求項 2 3】 前記認証情報には前記有料番組小売サイトから前記有料番組を購入する視聴者情報および地域情報が含まれ、

前記認証情報蓄積手段は前記視聴者情報および前記地域情報も蓄積し、前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 0 から請求項 2 2 のいずれか一項に記載の番組放送送受信システム。

【請求項 2 4】 前記有料番組は前記家庭端末に配信される際、前記有料番組サイトもしくは前記有料番組小売サイトによって広告主の CM が適宜挿入され、

前記認証情報には前記 CM の識別子やジャンルを表す CM 情報が含まれ、

前記認証情報蓄積手段は前記 CM 情報も蓄積し、前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 0 から請求項 2 3 のいずれか一項に記載の番組放送送受信システム。

【請求項 2 5】 有料番組の著作権保有者である有料番組サイトと有料番組を小売する権利を受けた有料番組小売サイトからなる番組放送送受信方法であって

前記有料番組小売サイトは前記有料番組を小売する際、前記有料番組小売サイトを特定する認証情報を前記有料番組サイトに送信し、

前記有料番組サイトは前記認証情報から前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断し、

前記有料番組サイトによって前記有料番組の小売が許諾されてから前記有料番組を小売する

ことを特徴とする番組放送送受信方法。

【請求項 2 6】 前記有料番組の映像音声情報は小売される度、前記有料番組サイトから視聴者の家庭端末に配信されるか、

前記有料番組小売サイトの揮発性記憶媒体にのみ記憶されるか、

前記有料番組小売サイトの不揮発性記憶媒体に記録された場合、前記有料番組の小売毎に前記不揮発性記録媒体から消去される

ことを特徴とする請求項 2 5 に記載の番組放送送受信方法。

【請求項 2 7】 前記認証情報には前記有料番組小売サイトと前記有料番組を購入する視聴者の家庭端末の配信形態を表す配信形態情報が含まれ、

前記有料番組サイトは前記配信形態情報も比較して前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 5 または請求項 2 6 のいずれか一項に記載の番組放送送受信方法。

【請求項 2 8】 前記認証情報には前記有料番組小売サイトから前記有料番組を購入する視聴者情報および地域情報が含まれ、

前記有料番組サイトは前記視聴者情報および前記地域情報も比較して前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 5 から請求項 2 7 のいずれか一項に記載の番組放送送受信方法。

【請求項 2 9】 前記有料番組は前記家庭端末に配信される際、前記有料番組サイトもしくは前記有料番組小売サイトによって広告主の CM が適宜挿入され、

前記認証情報には前記 CM の識別子やジャンルを表す CM 情報が含まれ、

前記有料番組サイトは前記 CM 情報も比較して前記有料番組小売サイトが前記有料番組の小売を許諾されているかどうか判断する

ことを特徴とする請求項 2 5 から請求項 2 8 のいずれか一項に記載の番組放送送受信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、映像や音楽等の有料番組にCM（コマーシャル・メッセージ）を付加することで有料番組の視聴料を割り引く番組放送送受信システムや、有料番組の著作権保有者から有料番組を小売する権利を受けた小売業者が有料番組を提供する番組放送送受信システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、既存の地上波放送に加えて、通信衛星や放送衛星、CATV、インターネット等を使用する様々な放送形態が登場している。

【 0 0 0 3 】

それらの放送の料金体系に関して、地上波放送のようにCMを番組中に挿入することで広告主から得る広告料で成り立つものや、視聴チャンネル毎あるいは視聴番組毎に視聴料の発生するものがある。

【 0 0 0 4 】

ところで、視聴者からは上記の有料番組でもCMを挿入することで視聴料を安くして欲しいという要求がある。

【 0 0 0 5 】

この種の従来技術として、特許第3002471号公報、特開平7-203420号公報、特開平9-18853号公報、特開平9-121338号公報、特開平9-130346号公報、特開平9-327002号公報、特開平10-164550号公報、特開2000-115726号公報がある。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、これらの従来技術に共通する問題点として、送信側及び受信側において、CMを挿入したり、挿入されたCMを視聴するための特殊な機能を持つ送信装置や受信装置を用意する必要がある。特殊な機能の例として、送信装置で複数のCMを1本の伝送路に圧縮して送信し、受信装置でCMを取捨選択する機能や、複数の伝送路を用い有料番組とCMを送り、受信装置でCMを有料番組の適当な個所に挿入する機能等がある。

【 0 0 0 7 】

また、有料番組を保有する有料番組サイトにおいて、有料番組にCMを挿入するか否かによる新たな料金体系の設定や、CMが視聴されたかどうかで料金に変化することによる顧客管理が必要になる。

【0008】

また、有料番組サイトは、有料番組毎に、広告主にあわせて適宜CMを挿入しなければならない。CMの映像音声情報、いわゆるコンテンツが新しくなった場合、コンテンツの入手から必要である。

【0009】

なお、ここでコンテンツとは、映像や音声、静止画、文字情報一般をさし、CMに限定するものではない。

【0010】

また、視聴者は有料番組に挿入されるCMに関して選択権が無い。視聴者に興味の無いCMは視聴者にとって苦痛だけでなく、視聴者にCMが再生される時間席を立たれたり、CMを早送りされたりするため、広告主側にとっても広告料の無駄である。

【0011】

一方、広告主はCMがどれだけ視聴されたかに関わらず、一定額の広告料を支払わなければならない。CMはそれが挿入される有料番組の視聴率によって宣伝効果が大きく変わるため、広告料が一定額であることは広告主にとって不利である。

【0012】

併せて、一般に視聴率は有料番組の視聴率を指し、広告主はCMがどれだけ視聴されたかを示すCM視聴率を得ることができない。

【0013】

また、有料番組サイトが著作権を保有する有料番組を、小売業者の管理するハードディスク等の不揮発性の記録媒体に渡して、小売業者が視聴者に対し有料番組を小売する販売形態では、有料番組が正規の小売業者以外のものによって、不当に安い金額あるいは無料で配布されてしまうという問題がある。

【0014】

実際、インターネットや携帯電話において、著作権保護された映像や音声、静止画等が、正規でないホームページ上等で不当に安い金額あるいは無料で配布されるケースが存在し、問題視されている。

【 0 0 1 5 】

このような事態が発生すると、有料番組サイトにとって極めて不利益であるため、有料番組サイトから小売業者に対し有料番組が提供されないことになる。

【 0 0 1 6 】

そこで、本発明は上記課題に鑑みてなされたものであり、有料番組にCM挿入することで視聴料を割り引きする番組放送送受信システムや、有料番組の著作権保有者から有料番組を小売する権利を受けた小売業者が有料番組を提供する番組放送送受信システムにおいて、有料番組サイトや視聴者の負担を軽減するとともに、視聴者のCM視聴や広告主の参入を促進させることを目的とする。

【 0 0 1 7 】

同時に、有料番組の著作権保有者から有料番組を小売する権利を受けた小売業者が有料番組を提供する番組放送送受信システムにおいて、有料番組が正規の小売業者以外のものによって不当に安い金額あるいは無料で配布されてしまうことを防ぎ、有料番組サイトの著作権を保護することを目的とする。

【 0 0 1 8 】

【課題を解決するための手段】

この課題を解決するために、本発明に係る番組放送送受信システムは、有料番組に広告主のCMを挿入して、広告主より広告料を得る代わりに視聴者の視聴料を割り引く番組放送送受信システムや、有料番組の著作権保有者から有料番組を小売する権利を受けた小売業者が有料番組を提供する番組放送送受信システムにおいて、有料番組サイトからの有料番組の入手と視聴された有料番組数に応じた使用料の支払い、及び視聴者へのCM挿入済み有料番組の提供と視聴料の徴収、並びに広告主の参入と視聴されたCM数に応じた広告料の徴収を仲介するCM情報管理サイトを導入することを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の有料番組選択時に、視

聴者に挿入するCMを選択させる手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者にCM選択されることにより得たCM視聴率を広告主に還元する手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の挿入CM選択時に、CM一覧の各CM項にCM毎の宣伝文章を付加する手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の挿入CM選択時に、CM毎にポイント数を設定し、視聴者の選択CMのポイント数の合計が一定値を超えることで有料番組の提供を許可する手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 2 3 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、有料番組の著作権を保有する有料番組サイトに小売業者であるCM情報管理サイト毎の認証許諾情報を持たせ、CM情報管理サイトが視聴者から有料番組提供のリクエストを受けた際、自身の認証情報を有料番組サイトに送信し、有料番組サイトによって有料番組の送信を許諾されたときのみ有料番組を視聴者に提供することを特徴とする。

【 0 0 2 4 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者に提供される有料番組は、有料番組サイトから直接視聴者に提供されるか、あるいは一旦CM情報管理サイトに記録される場合、その記録媒体は揮発性であるか、不揮発性であってもCM情報管理サイトから視聴者の家庭端末に有料番組提供後直ちに消去され、有料番組が小売業者であるCM情報管理サイトの不揮発性記録媒体に記録されないことを特徴とする。

【 0 0 2 5 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者からCM情報管理サイトに有料番組提供のリクエストを受けた際、CM情報管理サイトが自身の認証情報を有料番組サイトに送信し、有料番組サイトによって有料番組の送信を許諾され

た後、視聴者に提供する有料番組数とCM数を累積して計測することを特徴とする。

【0026】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、CM情報管理サイトから有料番組サイトに自身の認証情報を送信する際、インターネットや携帯電話等視聴者に提供する配信形態を識別できる識別子を送信し、有料番組サイトはそれらの情報も参照してCM情報管理サイトに有料番組の配信を許諾するかどうか決定することを特徴とする。

【0027】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、CM情報管理サイトから有料番組サイトに自身の認証情報を送信する際、有料番組の送信先の地域情報や視聴者の年齢等の視聴者情報、（視聴者の再生可能回数や提供可能な視聴者数、）提供済み視聴者数を送信し、有料番組サイトはそれらの情報も参照してCM情報管理サイトに有料番組の配信を許諾するかどうか決定することを特徴とする。

【0028】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、CM情報管理サイトから有料番組サイトに自身の認証情報を送信する際、有料番組に挿入するCMの識別子やジャンル、CMを保有する広告主の識別子を送信し、有料番組サイトはそれらの情報も参照してCM情報管理サイトに有料番組の配信を許諾するかどうか決定することを特徴とする。

【0029】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図1から図12を用いて説明する。

【0030】

（実施の形態1）

図1は、本発明の実施の形態の1つであるCM挿入済み有料番組放送送受信システムの構成図である。

【0031】

有料番組サイト101は、映画やスポーツ、ニュース、音楽等の有料番組を有



し、CM情報管理サイト104に対し有料番組を提供する代わりに、CM情報管理サイト104から契約に応じた有料番組使用料を得る。

【0032】

視聴者102は、CM情報管理サイト102からCM挿入済み有料番組を得て視聴する代わりに、CM情報管理サイト102に対し挿入されたCM数分割り引きされたCM挿入済み有料番組視聴料を支払う。

【0033】

広告主103は、CM情報管理サイト104によって視聴者102へ自社のCMが配信されることで自社製品の宣伝効果を得る代わりに、CM情報管理サイト104に対し自社のCMが配信された分の広告料を支払う。

【0034】

図2は、本発明の実施の形態の1つであるCM挿入済み有料番組放送送受信システムの構成図である。

【0035】

CM情報管理サイト2200は、モデム2201と、通信処理部2202と、要求受信部2203と、要求送信部2204と、番組一覧管理部2205と、コンテンツ受信部2206と、コンテンツ管理部2207と、コンテンツサーバ2208と、コンテンツ送信部2209と、コンテンツ送信数計測部2210から構成される。

【0036】

モデム2201は、公衆回線等を通じ家庭端末2100や有料番組サイト2300とデータ通信を行う。

【0037】

通信処理部2202は、モデム2201が受け取ったデータを適切な処理部に渡し、かつ各処理部からのデータをモデム2201に渡す。

【0038】

要求受信部2203は、通信処理部2202から有料番組一覧取得要求を受信し、それを番組一覧管理部2205に渡すとともに、通信処理部2202から有料番組取得要求を受信し、それをコンテンツ管理部2207に渡す。

【 0 0 3 9 】

要求送信部 2 2 0 4 は、番組一覧管理部 2 2 0 5 からの有料番組一覧送信要求やコンテンツ管理部 2 2 0 4 からの有料番組送信要求を受信し、それを通信処理部 2 2 0 2 に渡す。

【 0 0 4 0 】

番組一覧管理部 2 2 0 5 は、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 で提供する有料番組一覧を有し、要求受信部 2 2 0 3 からの有料番組一覧取得要求を受信し、有料番組一覧送信要求を要求送信部 2 2 0 4 に渡す。

【 0 0 4 1 】

コンテンツ受信部 2 2 0 6 は、公衆回線や放送電波等を通しコンテンツを受信し、それをコンテンツ管理部 2 2 0 7 に渡す。

【 0 0 4 2 】

コンテンツ管理部 2 2 0 7 は、要求受信部 2 2 0 3 からの有料番組送信要求を受信し、指定されたコンテンツをコンテンツサーバ 2 2 0 8 から読み出しコンテンツ送信部 2 2 0 9 に送信する。またコンテンツ管理部 2 2 0 7 はコンテンツ受信部 2 2 0 6 からのコンテンツ蓄積要求を受信し、受信したコンテンツをコンテンツサーバ 2 2 0 8 へ渡す。受信したコンテンツはコンテンツサーバ 2 2 0 8 で保持される。コンテンツ管理部 2 2 0 7 は各コンテンツに含まれる有料番組毎の有料番組数及び CM 毎の CM 数をコンテンツサーバ 2 2 0 8 と受け渡しする。各コンテンツに含まれる有料番組数及び CM 数については後述する。

【 0 0 4 3 】

コンテンツサーバ 2 2 0 8 は、有料番組のコンテンツや CM のコンテンツを蓄積し、コンテンツ管理部 2 2 0 7 からのコンテンツ読み出し及び書き込み要求に応じ適切なコンテンツをコンテンツ管理部 2 2 0 7 に送受信する。また、コンテンツ以外に、コンテンツに含まれる有料番組毎の有料番組数及び CM 毎の CM 数を保持する。なお、コンテンツに含まれる有料番組毎の有料番組数及び CM 毎の CM 数は、コンテンツサーバ 2 2 0 8 以外で管理してもよい。

【 0 0 4 4 】

コンテンツ送信部 2 2 0 9 は、コンテンツ管理部 2 2 0 7 からコンテンツ送信

要求を受信し、適切な家庭端末 2100 にコンテンツを送信するとともに、送信するコンテンツに含まれる各有料番組及び各CM毎の送信数をコンテンツ送信数計測部 2210 に渡す。

【0045】

コンテンツ送信数計測部 2210 は、コンテンツ送信部 2209 から送信する各有料番組及び各CM毎の送信数を受信し、総コンテンツ送信数一覧に累積して計測する。コンテンツ送信数一覧については後述する。

【0046】

なお、本実施の形態では通信手段として公衆回線や放送電波を例に挙げたが、CATVのように同軸ケーブルの上下回線でもよいし、インターネット網でも構わない。また、光ディスクのようにオフラインでデータを受け渡ししてもよい。

【0047】

有料番組サイト 2300 は、モデム 2301 と、通信処理部 2302 と、要求受信部 2303 と、コンテンツ管理部 2304 と、コンテンツ送信部 2305 と、コンテンツサーバ 2306 から構成される。

【0048】

モデム 2301 は、公衆回線等を通じ他のサイトとデータ通信を行う。

【0049】

通信処理部 2302 は、モデム 2301 が受け取ったデータを要求受信部 2303 に渡す。

【0050】

要求受信部 2303 は、通信処理部 2302 から有料番組の映像音声情報であるコンテンツ送信要求を受信する。

【0051】

コンテンツ管理部 2304 は、要求受信部 2303 からコンテンツ送信要求を受信し、要求されたコンテンツをコンテンツサーバ 2306 から読み出し、コンテンツ送信部 2305 に渡す。

【0052】

コンテンツ送信部 2305 は、コンテンツ管理部 2304 からコンテンツを受

け取り、それを適切なCM情報管理サイト2200に送信する。

【0053】

コンテンツサーバ2306は有料番組のコンテンツを蓄積し、コンテンツ管理部2304からのコンテンツ読み出し要求に応じ適切なコンテンツをコンテンツ管理部2304に渡す。

【0054】

なお、本実施の形態では通信手段として公衆回線や放送電波を例に挙げたが、CATVのように同軸ケーブルの上下回線でもよいし、インターネット網でも構わない。また、光ディスクのようにいわゆるオフラインでデータを受け渡ししてもよい。

【0055】

家庭端末2100は、モデム2101と、通信処理部2102と、要求送信部2103と、入力処理部2104と、要求受信部2106と、映像音声処理部2107と、コンテンツ受信部2109と、コンテンツ管理部2111と、再生回数計測部2112と、ICカード2113と、コンテンツサーバ2114から構成される。

【0056】

家庭端末2100は、映像音声や文字情報等を再生するモニタ2108と接続されている。家庭端末2100への入力のリモコン2105により行う。なお、家庭端末2100への入力は、家庭端末2100に直接設けられた入力手段（図示せず）を用いてもよい。

【0057】

入力処理部2104は、リモコン2105からの入力に応じ要求送信部2103に有料番組一覧取得要求や有料番組取得要求を送信する。

【0058】

リモコン2105は、視聴者からの入力を入力処理部2104に送信する。

【0059】

映像音声処理部2107は、要求受信部2106やコンテンツ管理部2111から映像音声データを受信しモニタ2108に送信する。

【 0 0 6 0 】

モニタ 2 1 0 8 は、視聴者に対し有料番組や CM、有料番組一覧等を再生または表示する。

【 0 0 6 1 】

コンテンツ受信部 2 1 0 9 は、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から公衆回線や放送電波等によって送られるコンテンツを受信しコンテンツ管理部 2 1 1 1 に渡す。

【 0 0 6 2 】

コンテンツ管理部 2 1 1 1 は、コンテンツ受信部 2 1 0 9 から送られるコンテンツをコンテンツサーバ 2 1 1 4 に渡し、また入力処理部 2 1 0 4 からの再生要求などに応じコンテンツサーバ 2 1 1 4 上の適切なコンテンツを映像音声処理部 2 1 0 7 に渡す。

【 0 0 6 3 】

再生回数計測部 2 1 1 2 は、家庭端末 2 1 0 0 で再生されたコンテンツの再生回数を計測し、それを IC カード 2 1 1 3 に送るとともに、必要に応じて要求送信部 2 1 0 3 を通して CM 情報管理サイトに再生回数を送信する。

【 0 0 6 4 】

IC カード 2 1 1 3 は着脱可能であり、有料番組及び CM 挿入済み有料番組の再生回数や、契約者の個人 ID やカード ID 等の視聴者情報、コンテンツサーバ上のコンテンツがスクランブルされている場合それをデスクランブルするための暗号鍵等を記憶する。

【 0 0 6 5 】

なお、本実施の形態では再生回数を再生回数計測部 2 1 1 2 が必要に応じて CM 情報管理サイトに送信するとしたが、入力処理部 2 1 0 4 が再生の度に CM 情報管理サイトに送信するとしてもよい。このとき、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 内に家庭端末 2 1 0 0 の再生回数計測部 2 1 1 2 に相当する機能（図示せず）が必要となる。

【 0 0 6 6 】

なお、本実施の形態では家庭端末 2 1 0 0 にコンテンツサーバ 2 1 1 4 がある

としたが、コンテンツサーバ 2 1 1 4 を持たず、コンテンツ受信部 2 1 0 9 で受信したコンテンツを直接再生する構成としてもよい。

【 0 0 6 7 】

以下、上述した CM 情報管理サイトによる CM 挿入済み有料番組提供方法について詳しく説明する。

【 0 0 6 8 】

図 3 は、家庭端末 2 1 0 0、CM 情報管理サイト 2 2 0 0、有料番組サイト 2 3 0 0 で送受信される CM 挿入済み有料番組提供メッセージシーケンスを示す図である。

【 0 0 6 9 】

視聴者が CM 挿入済み有料番組を視聴する際、まず家庭端末 2 1 0 0 より公衆回線等を通じ有料番組一覧取得要求 3 0 1 が CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に送信される。

【 0 0 7 0 】

有料番組一覧取得要求 3 0 1 を受信した CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、図 5 ( a ) に示す番組一覧管理部 2 2 0 5 で管理される現在提供可能な有料番組一覧を、公衆回線等を通じ家庭端末 2 1 0 0 に送信する ( 有料番組一覧送信 3 0 2 )

【 0 0 7 1 】

有料番組一覧を受け取った家庭端末 2 1 0 0 は、モニタ 2 1 0 8 に有料番組一覧を表示し、視聴者に有料番組選択を促す。視聴者は見たい有料番組をリモコン 2 1 0 5 で選択し、選択された有料番組名が公衆回線等を通じ CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に送信される ( 有料番組取得要求 3 0 3 ) 。

【 0 0 7 2 】

有料番組取得要求 3 0 3 を受け取った CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、視聴者に選択された有料番組名に該当する有料番組を所有する有料番組サイト 2 3 0 0 に対し、有料番組送信要求 3 0 4 を送信する。

【 0 0 7 3 】

有料番組送信要求 3 0 4 を受け取った有料番組サイト 2 3 0 0 は、公衆回線や

放送電波等を通じ、有料番組サイトコンテンツサーバ 2 3 0 6 に蓄積されている有料番組を CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に送信する（有料番組送信 3 0 5）。

【 0 0 7 4 】

有料番組送信 3 0 5 を受け取った CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、受信した有料番組のコンテンツを一旦コンテンツサーバ 2 2 0 8 に蓄積し、規定数の CM を有料番組に挿入するようコンテンツを編集する。編集手段は図示しないが、ハードディスク等を用いるノンリニア編集であっても、磁気テープ等を用いるリニア編集であってもよい。

【 0 0 7 5 】

このとき、編集された CM 挿入済み有料番組に含まれる有料番組及び CM 数を CM 挿入済み有料番組とともにコンテンツサーバ 2 2 0 8 等で保持する。

【 0 0 7 6 】

CM 挿入済み有料番組はコンテンツ送信部 2 2 0 9 によって、公衆回線や放送電波等を通じ、適切な家庭端末 2 1 0 0 に送信される（CM 挿入済み有料番組送信 3 0 6）。

【 0 0 7 7 】

このとき、コンテンツ送信部 2 2 0 9 は送信する CM 挿入済み有料番組に含まれる有料番組及び CM 数をコンテンツ管理部 2 2 0 7 から受け取り、それをコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 に送信する。コンテンツ送信数一覧は後述する。

【 0 0 7 8 】

CM 挿入済み有料番組送信 3 0 6 を受信した家庭端末 2 1 0 0 は、受信した CM 挿入済み有料番組を一旦コンテンツサーバ 2 1 1 4 に蓄積し、視聴者のリモコン 2 1 0 5 の操作に応じ CM 挿入済み有料番組を再生する。

【 0 0 7 9 】

このとき、コンテンツ管理部 2 1 1 1 が CM 挿入済み有料番組名等 CM 挿入済み有料番組再生回数がかかる情報を再生回数計測部 2 1 1 2 に送信し、再生回数計測部 2 1 1 2 が再生回数を計測する。計測された再生回数は適宜公衆回線等を通じ CM 情報管理サイトに通知される。

【 0 0 8 0 】

なお、本実施の形態では通信手段として公衆回線や放送電波を例に挙げたが、CATVのように同軸ケーブルの上下回線でもよいし、インターネット網でも構わない。また、光ディスクのようにいわゆるオフラインでデータを受け渡ししてもよい。

【0081】

なお、本実施の形態では再生回数を再生回数計測部 2 1 1 2 が必要に応じてCM情報管理サイトに送信するとしたが、入力処理部 2 1 0 4 が再生の度にCM情報管理サイトに送信するとしてもよい。

【0082】

なお、本実施の形態では家庭端末 2 1 0 0 にコンテンツサーバ 2 1 1 4 があるとしたが、これがなくコンテンツ受信部 2 1 0 9 で受信したコンテンツを直接再生してもよい。

【0083】

図 4 は、コンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 で計測されるコンテンツ送信数一覧及び総コンテンツ送信数一覧を示す図である。

【0084】

図 4 (a) は、コンテンツ送信部 2 2 0 9 からCM挿入済み有料番組が送信される際、コンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 に送られる有料番組及びCM数一覧である。

【0085】

コンテンツ送信数一覧 4 0 0 は番組名 4 0 1 と視聴者に提供した回数 4 0 2 から構成される。

【0086】

番組名 4 0 1 はCM挿入済み有料番組に含まれる有料番組及びCM名であり、視聴者に提供した回数 4 0 2 はCM挿入済み有料番組に含まれる各有料番組及び各CMの数を表している。

【0087】

なお番組名 4 0 1 は有料番組及びCMが特定できる情報ならば何でもよい。

【0088】



図 4 ( b ) は、コンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 で管理される総コンテンツ送信数一覧である。

【 0 0 8 9 】

図 4 ( a ) に示す有料番組及び CM 数一覧 4 0 0 を受け取ったコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 は、総コンテンツ送信数一覧 4 1 0 で番組名 4 0 3 に該当する視聴者に提供した回数 4 0 4 に総コンテンツ送信数を累積して計測する。

【 0 0 9 0 】

1 回の料金 4 1 1 は、各番組名毎に CM 情報管理サイトと各有料番組サイトまたは各広告主間で契約される、1 回の送信における有料番組の使用料または CM の広告料である。

【 0 0 9 1 】

使用料／広告料 4 1 2 は、各番組名毎に CM 情報管理サイトと各有料番組サイトまたは各広告主間の契約に応じた有料番組の使用料または CM の広告料であり、以下の式 ( 1 ) で算出される。

【 0 0 9 2 】

使用料／広告料 = 視聴者に提供した回数 × 1 回の料金 . . . ( 1 )

以上のように、視聴者に提供した回数に応じ、有料番組の場合 CM 情報管理サイトから有料番組サイトに有料番組使用料が支払われ、CM の場合広告主から CM 情報管理サイトに広告料が支払われる。

【 0 0 9 3 】

なお、本実施の形態では使用料／広告料を視聴者に提供した回数を元に算出したが、これは CM 情報管理サイトと各有料番組サイトまたは各広告主間の契約により、例えば視聴者が視聴した回数を元に算出してもよい。

【 0 0 9 4 】

以上で明らかなように、本発明では、有料番組サイトからの有料番組の入手と視聴された有料番組数に応じた使用料の支払い、及び視聴者への CM 挿入済み有料番組の提供と視聴料の徴収、並びに広告主の参入と視聴された CM 数に応じた広告料の徴収を仲介する CM 情報管理サイトを導入することにより、有料番組サイト及び視聴者で特殊な端末を用意する必要なく、CM 挿入による有料番組の割

り引きが可能である。

【0095】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組を編集することにより、有料番組サイトはCM挿入済み有料番組を提供するための、有料番組に挿入するCMを取得する手間や、有料番組にCMを挿入する手間が省ける。

【0096】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組に含まれる、視聴者に送信した有料番組を管理することにより、有料番組サイトは、新たな料金体系や顧客管理に煩わされることなく、有料番組を提供した分の有料番組使用料を得ることができる。

【0097】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組に含まれる、視聴者に送信したCM数を管理することにより、広告主は、視聴者に送信されたCM数分の適正な広告料を支払うことが可能になる。

【0098】

(実施の形態2)

図5は、有料番組選択時に視聴者に提示される有料番組及びCM一覧を示す図である。

【0099】

有料番組選択画面501は、CM情報管理サイトで提供される有料番組名502乃至503から構成される。視聴者は有料番組名502乃至503より、自分の見たい有料番組を選択する。

【0100】

挿入CM選択画面511は、CM情報管理サイトで挿入可能なCM名512乃至513と、各CMが視聴者に選択されたか否かを表すチェックボックス514乃至515と、有料番組の取得を開始する際選択される有料番組送信開始ボタン516から構成される。

【0101】

本実施の形態では、番組一覧管理部2205がCM情報管理サイトで挿入可能

なCM一覧をも管理し、有料番組一覧送信302において、番組一覧管理部2205より有料番組一覧が送信される際、CM情報管理サイトで挿入可能なCM一覧も同時に送信される。

【0102】

視聴者が有料番組一覧501で有料番組を選択した後、CM一覧511がモニタ2108に表示され、視聴者に挿入するCMの選択を促す。視聴者は挿入してもよいCMを、CM情報管理サイトにより規定される個数分チェックする（図5では5個）。チェックボックス514乃至515はチェックされているとき該当するCMが視聴者に選択されていることを表し、チェックされていないとき該当するCMが視聴者に選択されていないことを表す。

【0103】

視聴者が規定個数分チェックボックス514乃至515を選択した際、有料番組取得開始ボタン516が選択可能になる。

【0104】

視聴者から挿入するCM一覧（図示せず）を受け取ったCM情報管理サイトは、CM挿入済み有料番組編集時に、視聴者の選択したCMを挿入する。

【0105】

以上で明らかなように、本発明では、視聴者が見たい有料番組を選択する際、挿入するCMも併せて選択できるようにすることで、視聴者の興味のあるCMを提供することが可能になる。

【0106】

（実施の形態3）

図6は、CM情報管理サイトから広告主に送られるCM視聴率一覧を示す図である。

【0107】

CM視聴率一覧700は、CM名701、CM視聴回数702、CM視聴率703、視聴者内訳704と有料番組内訳705から構成される。

【0108】

CM名701は、CM情報管理サイトから視聴者に送信されたCM名を表す。

【0109】

CM視聴回数702は、総コンテンツ送信数一覧410における各CMの視聴者に提供した回数である。

【0110】

CM視聴率703は、CM情報管理サイトで挿入する全CMの視聴回数の合計と各CMの視聴回数702から算出されるものであり、以下の式(2)で得ることができる。

【0111】

視聴率 = 各CMの視聴回数 ÷ 全CMの視聴回数の合計 …… (2)

視聴者内訳704は、CM情報管理サイトで管理される視聴者情報(図示せず)から得られるものである。例えば各CMを選択した視聴者の年齢分布(図示せず)が与えられる。

【0112】

有料番組内訳705は、各CMにおけるCM情報管理サイトで挿入された有料番組の内訳である(内容は図示せず)。

【0113】

CM視聴率一覧は、広告主がCM情報管理サイトに広告料を支払う際、例えば月毎に集計された結果としてCM情報管理サイトから広告主に提供される。

【0114】

以上で明らかなように、コンテンツ送信数一覧410からCM視聴率一覧を作成し、それを広告主に提供することで、広告主は自社製品のCMの視聴率を知ることができる。この視聴率は、実施の形態2で視聴者により選択されたCM数から計測されるため、視聴者の興味を引くCMを知る上で信頼できるデータであることは言うまでもない。

【0115】

(実施の形態4)

図7は、実施の形態2において、家庭端末2100上で視聴者が挿入するCMを選択する際、CM一覧の各CM名に広告主毎の宣伝文章801乃至802を付加した宣伝文章付CM一覧を示す図である。なお、ここでは文章としたが、画像

や映像、音声を伴うものとしてもよい。

【0116】

本実施の形態では、番組一覧管理部2205がCM一覧のみならず各CM毎の宣伝文章をも管理しており、有料番組一覧送信302においてCM一覧とともに各CM毎の宣伝文章を家庭端末2100に送信する。

【0117】

このように、各CM名に広告主毎の宣伝文章を付加することで、視聴者のCM視聴を促進し、CMによる宣伝効果をより高めることができる。

【0118】

(実施の形態5)

図8は、実施の形態2において、家庭端末2100上で視聴者が挿入するCMを選択する際、CM毎に規定のポイントを設け、視聴者の選択したCMのポイントの合計が規定値以上で有料番組の取得を開始するポイント制CM一覧を示す図である。

【0119】

CM毎のポイント901乃至902は、契約時に広告主より申請され、番組一覧管理部2205にてCM毎に管理され、有料番組一覧送信302においてCM一覧とともに各CM毎のポイントを家庭端末2100に送信する。

【0120】

現在の合計ポイント903は、ポイント制CM一覧で視聴者によって選択されたCMの各ポイントの合計を表す。現在の合計ポイント903が規定値を越えた際(図8では100ポイント)、有料番組取得開始ボタン516が選択可能になる。

【0121】

図9は、ポイント制CM一覧におけるCM広告料一覧を示す図である。

【0122】

ポイント制CM広告料一覧1000は、CM名1004、視聴者に提供した回数404に加え、1ポイント料金1001、基本ポイント1002、広告料1003を備える。

【 0 1 2 3 】

1 ポイント料金 1 0 0 1 は、1 ポイントの広告料であり、各 CM で同じ料金である。なお、ここでは 1 ポイント料金 1 0 0 1 を各 CM で同じ料金としたが、CM 情報管理サイトと各広告主の契約により変化させてもよい。

【 0 1 2 4 】

基本ポイント 1 0 0 2 は、広告主が CM 情報管理サイトとの契約で決めるものであり、例えば月毎に変更可能である。

【 0 1 2 5 】

広告料 1 0 0 3 は、広告主より CM 情報管理サイトに支払われる広告料であり、以下の式 (3) で算出される。

【 0 1 2 6 】

$$\text{広告料} = \text{視聴者に提供した回数} \times \text{1 ポイント料金} \times \text{基本ポイント} \dots (3)$$

以上の説明で明らかなように、視聴者の CM 選択時にポイント数を設けることで、広告主が自社の CM をアピールしたい期間に自社 CM のポイント数を増加し、広告料が他社と比べて相対的に高くなる代わりに、自社 CM が視聴者に選択される割合を促進させることができる。

【 0 1 2 7 】

(実施の形態 6)

図 1 0 は、本発明の実施の形態の 1 つである番組放送受信システムの構成図である。

【 0 1 2 8 】

図 1 0 において、有料番組サイト 2 3 0 0 は、図 2 の構成に対してさらに、要求送信部 1 0 0 0 1、認証情報管理部 1 0 0 0 2、認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 を追加して構成される。

【 0 1 2 9 】

要求送信部 1 0 0 0 1 は、小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に自身の保有する有料番組の提供を許諾するかしないかといった許諾可否を認証情報管理部 1 0 0 0 2 から受信し、それを通信処理部 2 3 0 2 に渡す。

## 【 0 1 3 0 】

認証情報管理部 1 0 0 0 2 は、小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 からの有料番組配信認証情報を要求受信部 2 3 0 3 から受け取り、それを認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 で保持する認証許諾情報と比較することで CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に有料番組配信を許諾するかどうか判断し、その許諾可否を要求送信部 1 0 0 0 1 に渡す。

## 【 0 1 3 1 】

認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 は、有料番組サイト 2 3 0 0 の有料番組の配信を CM 情報管理サイト 2 3 0 0 に許諾するのに必要な認証許諾情報を保持し、認証情報管理部 1 0 0 0 2 からの認証許諾情報取得要求に応じ適切な認証許諾情報を渡す。

## 【 0 1 3 2 】

なお、図 1 0 において、視聴者への有料番組の配信は、有料番組サイト 2 3 0 0 から直接視聴者の家庭端末 2 1 0 0 へ送信されるか、または一旦 CM 情報管理サイト 2 2 0 0 の揮発性記憶領域（図示せず）に渡されるか、または一旦 CM 情報管理サイト 2 2 0 0 の不揮発性記憶領域であるコンテンツサーバ 2 2 0 8 に渡され、それが視聴者に提供された後直ちに消去される。このため、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 において、コンテンツサーバ 2 2 0 8 には CM のコンテンツのみ記録され、有料番組のコンテンツは記録されないか、記録された場合家庭端末 2 1 0 0 へ配信後コンテンツサーバ 2 2 0 8 からコンテンツ管理部 2 2 0 7 によって削除されるため、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 にそのとき必要でない有料番組が保持されることはない。

## 【 0 1 3 3 】

図 1 1 は、本実施の形態における家庭端末 2 1 0 0、CM 情報管理サイト 2 2 0 0、有料番組サイト 2 3 0 0 で送受信される有料番組提供メッセージシーケンスを示す図である。

## 【 0 1 3 4 】

図 1 1 ( a ) は、有料番組サイト 2 3 0 0 の保持する有料番組が一旦 CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に送信され、それが揮発性記憶領域に記録されるか、あるいは

は不揮発性記憶領域であるコンテンツサーバ 2 2 0 8 に記録される場合、適切な家庭端末 2 1 0 0 に送信された後直ちにコンテンツサーバ 2 2 0 8 から削除される場合のメッセージシーケンスである。

【 0 1 3 5 】

図 1 1 ( a ) では、図 3 における有料番組一覧取得要求 3 0 1、有料番組一覧送信 3 0 2、有料番組取得要求 3 0 3、有料番組送信 3 0 6 に加え、認証情報付き有料番組送信要求 1 1 0 1、認証許諾可否通知 1 1 0 2 から構成される。

【 0 1 3 6 】

有料番組取得要求 3 0 3 を受信した CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、視聴者に選択された有料番組名に該当する有料番組を所有する有料番組サイト 2 3 0 0 に対し、自身の認証情報とともに認証情報付き有料番組送信要求 1 1 0 1 を送信する。

【 0 1 3 7 】

認証情報付き有料番組送信要求 1 1 0 1 を受信した有料番組サイト 2 3 0 0 は、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から送られてきた認証情報を認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 で保持する認証許諾情報と比較し、認証可能であるならば認証を許諾する通知を視聴者に選択された有料番組と共に、認証不可能であれば認証を許諾しない通知を CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に対して送信する（認証許諾可否通知 1 1 0 2）。このときの具体的な認証方法については後述する。

【 0 1 3 8 】

認証許諾可否通知 1 1 0 2 を受信した CM 情報管理サイトは、認証が許諾された場合、送信された有料番組に適宜 CM を加えた後、その CM 挿入済み有料番組に含まれる有料番組数及び CM 数をコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 で累積して計測した後、適切な家庭端末 2 1 0 0 に対し要求された CM 挿入済み有料番組を送信する。

【 0 1 3 9 】

このとき、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 で受信した有料番組は、揮発性記憶領域にのみ記憶されるか、不揮発性記憶領域であるコンテンツサーバ 2 2 0 8 に記録された場合、有料番組送信 3 0 6 が終了次第、直ちにコンテンツサーバ 2 2 0



8 から削除される。

【 0 1 4 0 】

受信した認証許諾可否通知 1 1 0 2 が認証を許諾しない通知である場合、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、家庭端末 2 1 0 0 に対して選択された有料番組の送信ができない旨を通知する。

【 0 1 4 1 】

図 1 1 ( b ) は、有料番組が有料番組サイト 2 3 0 0 から直接家庭端末 2 1 0 0 に送信される場合のメッセージシーケンスである。

【 0 1 4 2 】

図 1 1 ( b ) では、図 1 1 ( a ) の構成に加え、有料番組送信要求 1 1 1 3、有料番組送信 1 1 1 4 から構成される。

【 0 1 4 3 】

認証情報付き有料番組送信要求 1 1 0 1 を受信した有料番組サイト 2 3 0 0 は、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から送られてきた認証情報を認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 で保持する認証情報と比較し、認証可能であるならば認証を許諾する通知を、認証不可能であれば認証を許諾しない通知を CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に対して送信する（認証許諾可否通知 1 1 0 2）。このとき、図 1 1 ( a ) と異なり有料番組は送信されない。また、このときの具体的な認証方法については後述する。

【 0 1 4 4 】

認証許諾可否通知 1 1 0 2 を受信した CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、認証が許諾された場合、適切な家庭端末 2 1 0 0 に送信する CM 挿入済み有料番組に含まれる有料番組数及び CM 数をコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 で累積して計測した後、有料番組サイト 2 3 0 0 に対し有料番組に挿入する CM とともに有料番組送信要求 1 1 1 3 を送信する。

【 0 1 4 5 】

有料番組送信要求 1 1 1 3 を受信した有料番組サイト 2 3 0 0 は、適切な家庭端末 2 1 0 0 に対し有料番組送信要求 1 1 1 3 とともに受信した CM と要求された有料番組を送信する。

【0146】

なお、本実施の形態では、有料番組サイト2300から家庭端末2100に直接有料番組を送信する際、CMを送信した後有料番組を送信することとしてもよいし、有料番組サイト2300で適宜CMを有料番組に挿入してもよい。

【0147】

なお、本実施の形態では、好適な実施例としてコンテンツを家庭端末2100に記録できないインターネットでのストリーミング型配信等が挙げられるが、家庭端末2100に配信される有料番組に十分な著作権保護対策がなされている場合、コンテンツが家庭端末2100に記録されるインターネットでのダウンロード型配信でもよい。

【0148】

図12は、CM情報管理サイト2200から有料番組サイト2300に送信される認証情報と、有料番組サイト2300の認証許諾情報サーバ10003で保持される認証許諾情報を示す図である。

【0149】

図12(a)は、CM情報管理サイト2200が家庭端末2100から有料番組取得要求303を受け取った後、有料番組サイト2300に送られる認証情報である。認証情報12000は、サイトID12001、パスワード12002、配信形態12003、配信先12004、有料番組名12005、CM名12006、CMジャンル12007から構成される。

【0150】

サイトID12001は、認証情報12000を送信したCM情報管理サイト2200を有料番組サイト2300が一意に識別するための識別子であり、CM情報管理サイト2200を一意に識別できるものであれば何でもよい。なお、有料番組サイト2300がインターネット上の不特定の場所に有料番組を配信してしまうことを防ぐために、現在送受信している相手を特定する位置情報であるIPアドレス等を含んでもよい。

【0151】

パスワード12002は、認証情報12000を送信したCM情報管理サイト

2 2 0 0 の認証に用いられるものであり、CM情報管理サイト 2 2 0 0 毎に異なる。例えば、有料番組サイト 2 3 0 0 とCM情報管理サイト 2 2 0 0 の契約時に有料番組サイト 2 3 0 0 から交付される。

【 0 1 5 2 】

配信形態 1 2 0 0 3 は、CM情報管理サイト 2 2 0 0 と家庭端末 2 1 0 0 との通信形態を表す。図 1 2 ( a ) では携帯電話、インターネット、放送波を示したが、この他DVD等オフラインの通信形態であってもよい。

【 0 1 5 3 】

配信先 1 2 0 0 4 は、CM情報管理サイト 2 2 0 0 から有料番組を送信する家庭端末 2 1 0 0 の位置情報であり、国名や地域名、IPアドレス等が挙げられる。これにより、例えば有料番組を映画とした場合、DVDにおけるリージョン制限等のように、映画館での放映が終了している地域のみその映画の送信を許可し、まだ映画館で放映中の地域では許可しないといったことが可能になる。同様に、この他の制限事項として認証情報 1 2 0 0 0 に視聴者の年齢等を含めてもよい。

【 0 1 5 4 】

有料番組名 1 2 0 0 5 は、有料番組サイト 2 3 0 0 が著作権を保有し、CM情報管理サイト 2 2 0 0 から家庭端末 2 1 0 0 に送信する有料番組を一意に識別する識別子である。

【 0 1 5 5 】

CM名 1 2 0 0 6 は、CM情報管理サイト 2 2 0 0 から家庭端末 2 1 0 0 に送信されるCM付き有料番組に含まれる各CMを一意に識別する識別子である。

【 0 1 5 6 】

CMジャンル 1 2 0 0 7 は、CM情報管理サイト 2 2 0 0 から家庭端末 2 1 0 0 に送信されるCM付き有料番組に含まれる各CMの属するジャンルである。

【 0 1 5 7 】

図 1 2 ( b ) は、認証許諾情報サーバ 1 0 0 0 3 で保持され、有料番組サイト 2 3 0 0 がCM情報管理サイト 2 2 0 0 から認証情報付き有料番組送信要求 1 1 0 1 を受け取った際、CM情報管理サイト 2 2 0 0 から送られた認証情報 1 2 0

00を調べ、有料番組が不当に配信されないかどうかチェックする際使用される認証許諾情報である。

【0158】

認証許諾情報12100は、サイトID12101、パスワード12102、配信形態12103、配信先12104、有料番組名12105、CM名12106、CMジャンル12107から構成される。

【0159】

サイトID12101は、有料番組サイト2300が有料番組の小売を許可するCM情報管理サイト2200を一意に識別する識別子である。

【0160】

パスワード12102は、有料番組サイト2300によって有料番組の小売が許可されたCM情報管理サイト2200の認証に用いられるものである。有料番組サイト2300は、CM情報管理サイト2200から送信された認証情報12000に含まれるサイトID12001及びパスワード12002を、認証許諾情報12100に含まれるサイトID12101及びパスワード12102と照合し、CM情報管理サイト2200が小売を許諾されているかどうかを判断する。なお、前述のように、CM情報管理サイト2200の認証時に、そのIPアドレス等CM情報管理サイト2200の位置情報を一意に識別できるものを対象として含んでいてもよい。

【0161】

配信形態12104は、有料番組サイト2300で許可している有料番組の配信形態を表す。これにより、CM情報管理サイト2200毎や、有料番組毎に、配信形態を有料番組サイト2300で制限できる。

【0162】

配信先12104は、有料番組サイト2300で許可している有料番組の配信先である。これにより、前述のように、映画館での放映が終了している地域か否かで有料番組の配信を制限することが可能になる。同様に、前述のように配信先だけではなく、視聴者の年齢も含め、配信先の視聴者の年齢制限を設けてもよい。

【 0 1 6 3 】

有料番組名 1 2 1 0 5 は、有料番組サイト 2 3 0 0 で許可している有料番組を一意に識別する識別子である。

【 0 1 6 4 】

CM 名 1 2 1 0 6 は、有料番組サイト 2 3 0 0 で各有料番組に提供することを許可している CM を一意に識別する識別子である。これにより、例えば有料番組サイト 2 3 0 0 と提携している広告主の CM のみを有料番組と併せて送信することが可能になる。

【 0 1 6 5 】

CM ジャンル 1 2 1 0 7 は、有料番組サイト 2 3 0 0 で各有料番組に提供することを許可している CM のジャンルである。これにより、例えばアルコール飲料の CM や児童に不適切な CM を有料番組に提供することを防ぐことが可能になる。

【 0 1 6 6 】

なお、図 1 1 ( a ) の説明で、受信した認証許諾可否通知 1 1 0 2 が認証を許諾しない通知である場合、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 は、有料番組を送信しないとした。しかし、CM 名や CM ジャンルにより、複数の CM のうち、一部分のみ許諾条件に合わない場合、条件に合う CM に限定して、有料番組の配信を行うようにしても良い。その際、CM による割引等は再計算を行うことになる。

【 0 1 6 7 】

CM 情報管理サイトで条件に合う CM だけに絞るような運用をしたくない場合には、CM 情報管理サイトから家庭端末 2 1 0 0 へ CM 一覧を提示する際に、選択肢を絞って再度選択処理を行うようにすればよい。

【 0 1 6 8 】

以上の説明で明らかなように、本実施の形態では、有料番組の著作権を保有する有料番組サイト 2 3 0 0 に認証許諾情報を持たせ、有料番組の小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から有料番組サイト 2 3 0 0 に送信される認証情報が有料番組サイト 2 3 0 0 によって許諾された場合のみ、家庭端末 2 1 0 0 への有料番組配信を許可することで、有料番組サイト 2 3 0 0 と契約を結んでいない

、正規でないサイトから有料番組が不当に安い金額あるいは無料で有料番組が配信されてしまうことを阻止できる。

【 0 1 6 9 】

さらに、本実施の形態の番組放送受信システムにおいて、視聴者に提供される有料番組は、有料番組サイト 2 3 0 0 から直接家庭端末 2 1 0 0 に提供されるか、あるいは一旦 CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に記録される場合、その記録媒体は揮発性であるか、コンテンツサーバ 2 2 0 8 のように不揮発性であっても CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から家庭端末 2 1 0 0 に有料番組提供後直ちに消去され、有料番組が小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 の不揮発性記録媒体に記録されないことにより、有料番組の不正な配信をより強固に防ぐことができる。

【 0 1 7 0 】

同様に、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 が有料番組サイト 2 3 0 0 から有料番組の配信を許諾された後に、配信する有料番組数及び CM 数を累積して計測することで、有料番組サイト 2 3 0 0 が CM 情報管理サイト 2 2 0 0 や配信形態、配信先、挿入する CM 等に制限を加える場合であっても、視聴料の管理が CM 情報管理サイト 2 2 0 0 で可能になる。

【 0 1 7 1 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に CM 情報管理サイト 2 2 0 0 と家庭端末 2 1 0 0 の配信形態の識別子を含めることで、有料番組が有料番組サイト 2 3 0 0 の望まない配信形態で流布されることを防ぐことができる。

【 0 1 7 2 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に家庭端末 2 1 0 0 の地域情報や視聴者の年齢等の視聴者情報を含めることで、例えば映画館での放映が終っていない地域や、年齢的に不適切な視聴者にはその有料番組を送信しないといった制限を有料番組サイト 2 3 0 0 で行うことが可能になる。

【 0 1 7 3 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に有料番組と同時に送

信されるCM名やCMジャンルを含めることで、例えば有料番組サイト2300と提携していないもしくは有料番組に適さないCMを有料番組サイト2300で制限することが可能になる。

【0174】

【発明の効果】

以上の説明で明らかなように、本発明に係る有料放送番組送受信システムは、有料番組サイトからの有料番組の入手と視聴された有料番組数に応じた使用料の支払い、及び視聴者へのCM挿入済み有料番組の提供と視聴料の徴収、並びに広告主の参入と視聴されたCM数に応じた広告料の徴収を仲介するCM情報管理サイトを導入することを特徴とする。

【0175】

これにより、有料番組サイト及び視聴者で特殊な端末を用意する必要なく、CM挿入による有料番組の割り引きが可能である。

【0176】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組を編集することにより、有料番組サイトはCM挿入済み有料番組を提供するための、有料番組に挿入するCMを取得する手間や、有料番組にCMを挿入する手間が省ける。

【0177】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組に含まれる、視聴者に送信した有料番組を管理することにより、有料番組サイトは、新たな料金体系や顧客管理に煩わされることなく、有料番組を提供した分の有料番組使用料を得ることができる。

【0178】

同様に、CM情報管理サイトがCM挿入済み有料番組に含まれる、視聴者に送信したCM数を管理することにより、広告主は、視聴者に送信されたCM数分の適正な広告料を支払うことが可能になる。

【0179】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の有料番組選択時に、視聴者に挿入するCMを選択させる手段を備えることとしてもよい。

【 0 1 8 0 】

これにより、視聴者が見たい有料番組を選択する際、挿入するCMも併せて選択できるようにすることで、視聴者の興味のあるCMを提供することが可能になる。

【 0 1 8 1 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者にCM選択されることにより得たCM視聴率を広告主に還元する手段を備えることとしてもよい。

【 0 1 8 2 】

これにより、コンテンツ送信数一覧410からCM視聴率一覧を作成し、それを広告主に提供することで、広告主は自社製品のCMの視聴率を知ることができる。この視聴率は、実施の形態2で視聴者により選択されたCM数から計測されるため、視聴者の興味を引くCMを知る上で信頼できるデータであることは言うまでもない。

【 0 1 8 3 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の挿入CM選択時に、CM一覧の各CM項にCM毎の宣伝文章を付加する手段を備えることとしてもよい。

【 0 1 8 4 】

これにより、各CM名に広告主毎の宣伝文章を付加することで、視聴者のCM視聴を促進し、CMによる宣伝効果をより高めることができる。

【 0 1 8 5 】

また、前記番組放送送受信システムにおいて、視聴者の挿入CM選択時に、CM毎にポイント数を設定し、視聴者の選択CMのポイント数の合計が一定値を超えることで有料番組の提供を許可する手段を備えることとしてもよい。

【 0 1 8 6 】

これにより、視聴者のCM選択時にポイント数を設けることで、広告主が自社のCMをアピールしたい期間に自社CMのポイント数を増加し、広告料が他社と比べて相対的に高くなる代わりに、自社CMが視聴者に選択される割合を促進させることができる。



【 0 1 8 7 】

また、有料番組の著作権を保有する有料番組サイト 2 3 0 0 に認証許諾情報を持たせ、有料番組の小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から有料番組サイト 2 3 0 0 に送信される認証情報が有料番組サイト 2 3 0 0 によって許諾された場合のみ、家庭端末 2 1 0 0 への有料番組配信を許可することとしてもよい。

【 0 1 8 8 】

これにより、有料番組サイト 2 3 0 0 と契約を結んでいない、正規でないサイトから有料番組が不当に安い金額あるいは無料で有料番組が配信されてしまうことを阻止できる。

【 0 1 8 9 】

さらに、前記番組放送受信システムにおいて、視聴者に提供される有料番組は、有料番組サイト 2 3 0 0 から直接家庭端末 2 1 0 0 に提供されるか、あるいは一旦 CM 情報管理サイト 2 2 0 0 に記録される場合、その記録媒体は揮発性であるか、コンテンツサーバ 2 2 0 8 のように不揮発性であっても CM 情報管理サイト 2 2 0 0 から家庭端末 2 1 0 0 に有料番組提供後直ちに消去され、有料番組が小売業者である CM 情報管理サイト 2 2 0 0 の不揮発性記録媒体に記録されないこととすることで、有料番組の不正な配信をより強固に防ぐことができる。

【 0 1 9 0 】

同様に、CM 情報管理サイト 2 2 0 0 が有料番組サイト 2 3 0 0 から有料番組の配信を許諾された後に、配信する有料番組数及び CM 数を累積して計測することで、有料番組サイト 2 3 0 0 が CM 情報管理サイト 2 2 0 0 や配信形態、配信先、挿入する CM 等に制限を加える場合であっても、視聴料の管理が CM 情報管理サイト 2 2 0 0 で可能になる。

【 0 1 9 1 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に CM 情報管理サイト 2 2 0 0 と家庭端末 2 1 0 0 の配信形態の識別子を含めることで、有料番組が有料番組サイト 2 3 0 0 の望まない配信形態で流布されることを防ぐことができる。

【 0 1 9 2 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に家庭端末 2 1 0 0 の地域情報や視聴者の年齢等の視聴者情報を含めることで、例えば映画館での放映が終っていない地域や、年齢的に不適切な視聴者にはその有料番組を送信しないといった制限を有料番組サイト 2 3 0 0 で行うことが可能になる。

【 0 1 9 3 】

同様に、認証情報 1 2 0 0 0 や認証許諾情報 1 2 1 0 0 に有料番組と同時に送信される CM 名や CM ジャンルを含めることで、例えば有料番組サイト 2 3 0 0 と提携していないもしくは有料番組に適さない CM を有料番組サイト 2 3 0 0 で制限することが可能になる。

【 0 1 9 4 】

なお、各実施の形態では通信手段として公衆回線や放送電波を例に挙げたが、CATV のように同軸ケーブルの上下回線でもよいし、インターネット網でも構わない。また、光ディスクのようにいわゆるオフラインでデータを受け渡ししてもよい。

【 0 1 9 5 】

なお、各実施の形態における各コンテンツサーバはハードディスクのような固定式のものであっても、DVD-RAM のような着脱式のものであっても構わない。同様に、テープのようなリニアアクセスのものでも構わない。

【 0 1 9 6 】

以上の理由で本発明の実用的効果は多大である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態による CM 挿入済み有料番組放送送受信システムの概念図

【図 2】

本発明の実施の形態 1 から 5 による CM 挿入済み有料番組放送送受信システムの構成図

【図 3】

本発明の実施の形態 1 による CM 挿入済み有料番組提供メッセージシーケンスを示す図

【図 4】

(a) 本発明の実施の形態 1 によるコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 に渡されるコンテンツ送信数一覧を示す図

(b) 本発明の実施の形態 1 によるコンテンツ送信数計測部 2 2 1 0 で計測される総コンテンツ送信数一覧を示す図

【図 5】

(a) 本発明の実施の形態 2 による視聴者が有料番組を選択する際の有料番組一覧を示す図

(b) 本発明の実施の形態 2 による視聴者が CM を選択する際の CM 一覧を示す図

【図 6】

本発明の実施の形態 3 による CM 情報管理サイトから広告主に渡される CM 視聴率一覧を示す図

【図 7】

本発明の実施の形態 4 による視聴者の CM 選択時にモニタにて表示される宣伝文章付 CM 一覧を示す図

【図 8】

本発明の実施の形態 5 による視聴者の CM 選択時にモニタにて表示されるポイント制 CM 一覧を示す図

【図 9】

本発明の実施の形態 5 によるポイント制による CM 広告料一覧を示す図

【図 1 0】

本発明の実施の形態 6 による番組放送送受信システムの構成図

【図 1 1】

(a) 本発明の実施の形態 6 による CM 情報管理サイトを經由して有料番組を配信する場合のメッセージシーケンスを示す図

(b) 本発明の実施の形態 6 による有料番組サイトから家庭端末へ直接有料番組を配信する場合のメッセージシーケンスを示す図

【図 1 2】

(a) 本発明の実施の形態 6 による CM 情報管理サイトから有料番組サイトへ送信する認証情報のデータ形式を示す図

(b) 本発明の実施の形態 6 による有料番組サイトで保持する認証許諾情報のデータ形式を示す図

【符号の説明】

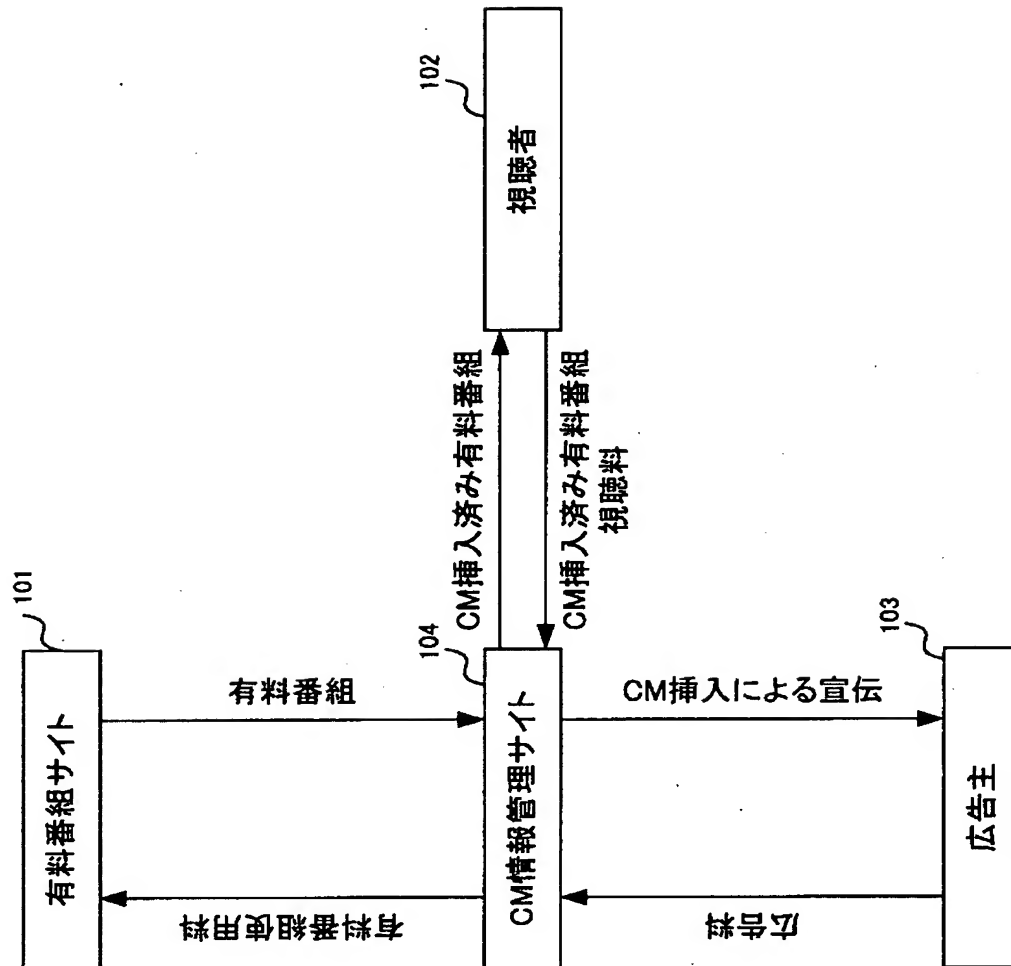
- 1 0 1 有料番組サイト
- 1 0 2 視聴者
- 1 0 3 広告主
- 1 0 4 CM 情報管理サイト
- 2 1 0 0 家庭端末
- 2 1 0 1, 2 2 0 1, 2 3 0 1 モデム
- 2 1 0 2, 2 2 0 2, 2 3 0 2 通信処理部
- 2 1 0 3, 2 2 0 4 要求送信部
- 2 1 0 4 入力処理部
- 2 1 0 5 リモコン
- 2 1 0 6 要求受信部
- 2 1 0 7 映像音声処理部
- 2 1 0 8 モニタ
- 2 1 0 9 コンテンツ受信部
- 2 1 1 1 コンテンツ管理部
- 2 1 1 2 再生回数計測部
- 2 1 1 3 IC カード
- 2 1 1 4, 2 2 0 8, 2 3 0 6 コンテンツサーバ
- 2 2 0 0 CM 情報管理サイト
- 2 2 0 3, 2 3 0 3 要求受信部
- 2 2 0 5 番組一覧管理部
- 2 2 0 6 コンテンツ受信部
- 2 2 0 7 コンテンツ管理部
- 2 2 0 9 コンテンツ送信部

- 2 2 1 0 コンテンツ送信数計測部
- 2 3 0 0 有料番組サイト
- 2 3 0 3 要求受信部
- 2 3 0 4 コンテンツ管理部
- 2 3 0 5 コンテンツ送信部
- 3 0 1 有料番組一覧取得要求メッセージ
- 3 0 2 有料番組送信メッセージ
- 3 0 3 有料番組取得要求メッセージ
- 3 0 4 有料番組送信要求メッセージ
- 3 0 5 有料番組送信メッセージ
- 3 0 6 CM挿入済み有料番組送信メッセージ
- 4 0 0 コンテンツ送信数一覧
- 4 0 1, 4 0 3 番組名
- 4 0 2, 4 0 4 視聴者に提供した回数
- 4 1 0 総コンテンツ送信数一覧
- 4 1 1 1回の送信における使用料または広告料
- 4 1 2 現在の使用料または広告料
- 5 0 1 有料番組選択画面
- 5 0 2, 5 0 3 選択可能な有料番組名
- 5 1 1 挿入CM選択画面
- 5 1 2, 5 1 3 選択可能なCM名
- 5 1 4, 5 1 5 チェックボックス
- 5 1 6 有料番組送信開始ボタン
- 7 0 0 CM視聴率一覧
- 7 0 1 CM名
- 7 0 2 CM視聴回数
- 7 0 3 CM視聴率
- 7 0 4 視聴者内訳
- 7 0 5 有料番組内訳

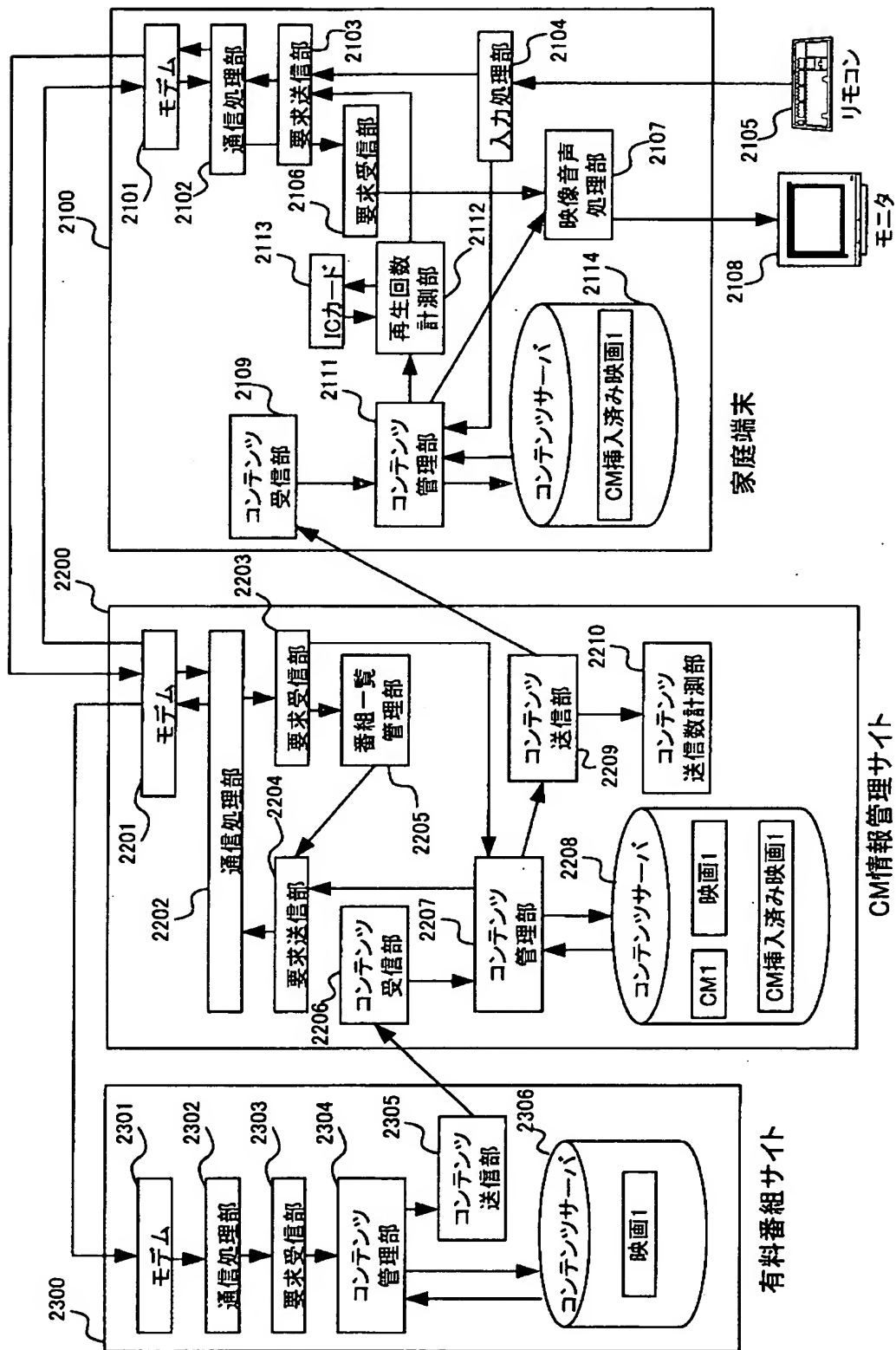
- 800 宣伝文章付CM選択画面
- 801, 802 宣伝文章
- 900 ポイント制CM選択画面
- 901, 902 CMポイント数
- 903 選択されたCMの総ポイント数
- 1000 ポイント制CM広告料一覧
- 1001 1ポイント料金
- 1002 基本ポイント
- 1003 広告料
- 1004 CM名
- 10001 要求送信部
- 10002 認証情報管理部
- 10003 認証許諾情報サーバ
- 1101 認証情報付き有料番組送信要求メッセージ
- 1102 認証情報許諾可否通知メッセージ
- 1113 有料番組送信要求メッセージ
- 1114 有料番組送信メッセージ
- 12000 認証情報
- 12100 認証許諾情報
- 12001, 12101 サイトID
- 12002, 12102 パスワード
- 12003, 12103 配信形態
- 12004, 12104 配信先
- 12005, 12105 有料番組名
- 12006, 12106 CM名
- 12007, 12107 CMジャンル

【書類名】 図面

【図 1】

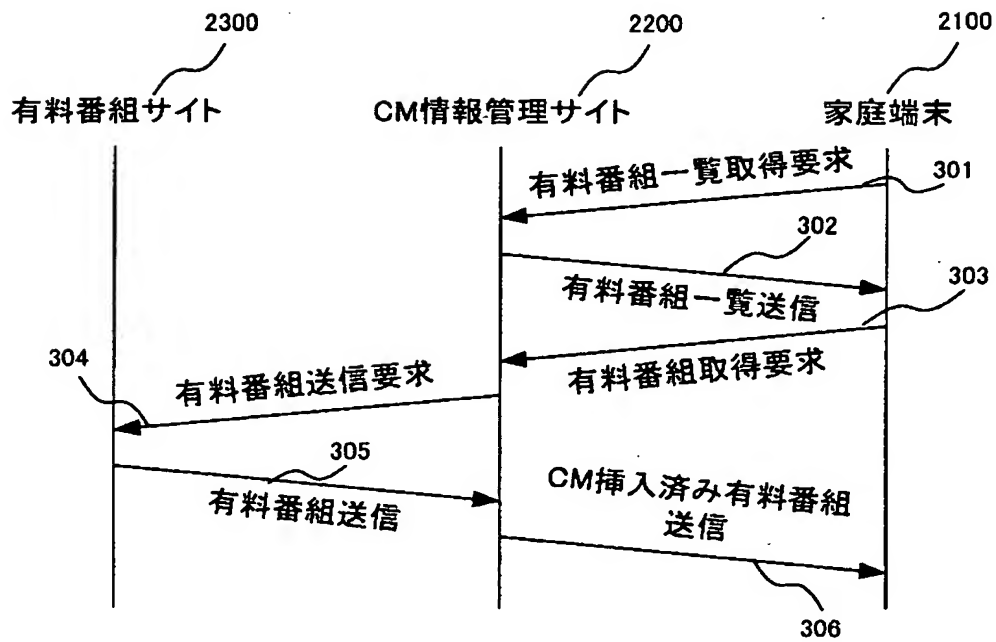


【図 2】





【図 3】



【図 4】

番組名	視聴者に提供 した回数
映画1	1
CM1	5
CM2	4

(a)

番組名	視聴者に提供 した回数	1回の料金	使用料/ 広告料
映画1	37	10,000円	370,000円
映画2	28	12,000円	336,000円
CM1	379	1,000円	379,000円
CM2	312	1,000円	312,000円

(b)

【図 5】

501

☐

視聴する有料番組を1つ選択して下さい

1. 映画1 502

2. 映画2 503

...

(a)



511

☐

有料番組に挿入するCMを5つ選択して下さい

514 515 ☒ 1. CM1 512

☐ 2. CM2 513

...

516

有料番組の取得

(b)

【図 6】

701 CM名	702 CM視聴 回数	703 CM 視聴率	704 視聴者 内訳	705 有料番組 内訳
CM1	57	6.87%		
CM2	65	7.83%		
CM3	98	11.81%		
CM4	379	45.66%		
CM5	231	27.83%		

【図 7】

800

有料番組に挿入するCMを5つ選択して下さい

514

515 ☒ 1. CM1(ただいまXXプレゼント実施中!) 801

513 ☐ 2. CM2(ただいまキャンペーン実施中!) 802

...

516

有料番組の取得

【図 8】

900

有料番組に挿入するCMをポイントの合計が  
100以上になるように選択して下さい

514 512 現在の合計ポイント 903 10

515 ☒ 1. CM1(10ポイント) 513 901

☐ 2. CM2(20ポイント) 902

...

516

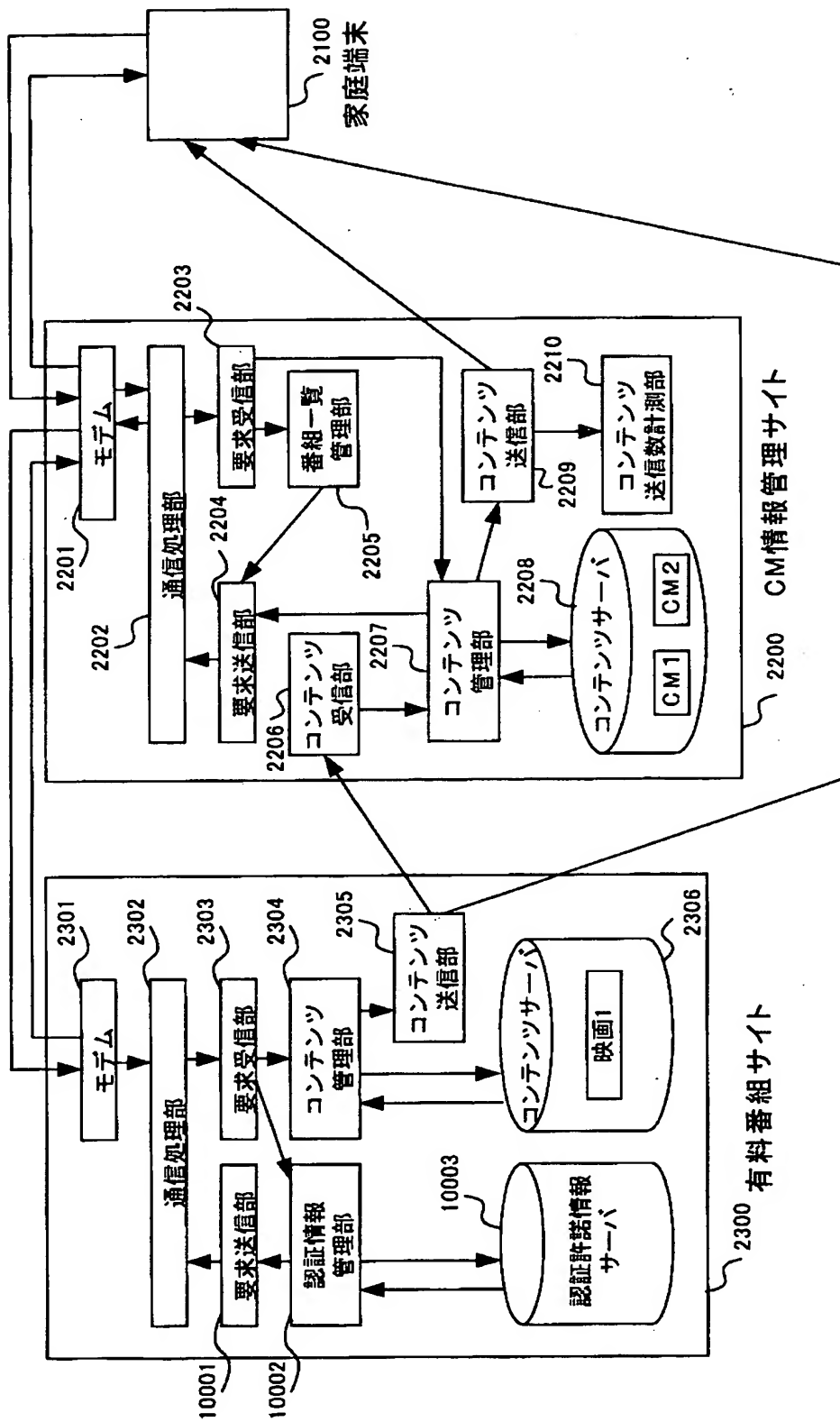
有料番組の取得

【図 9】

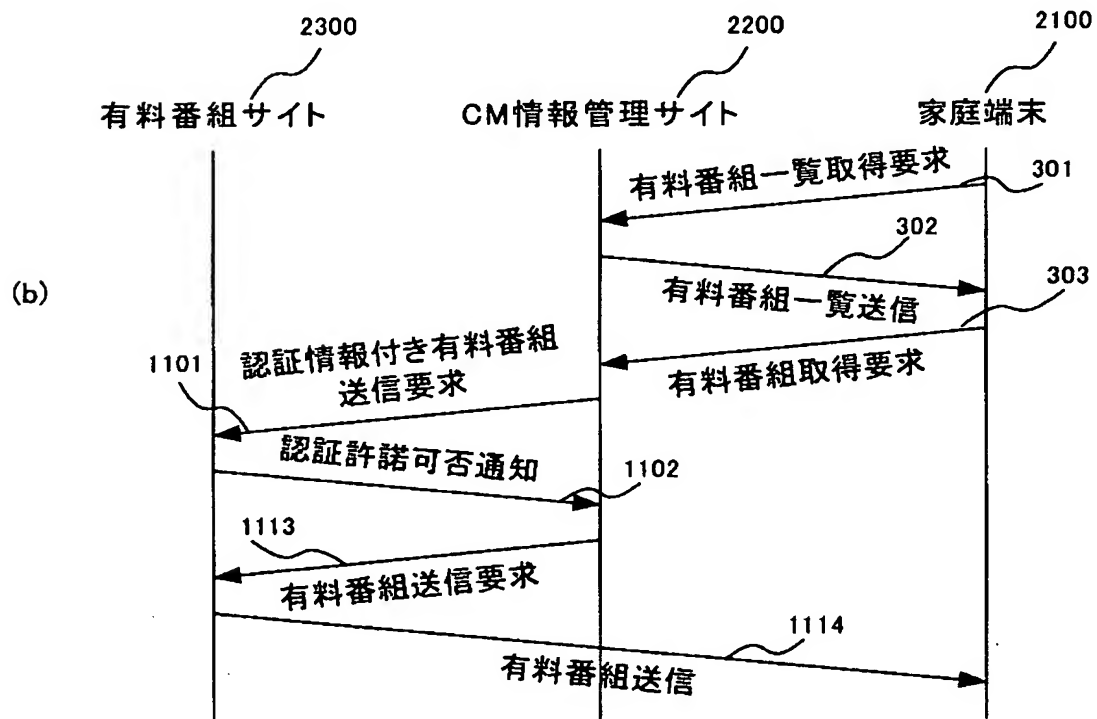
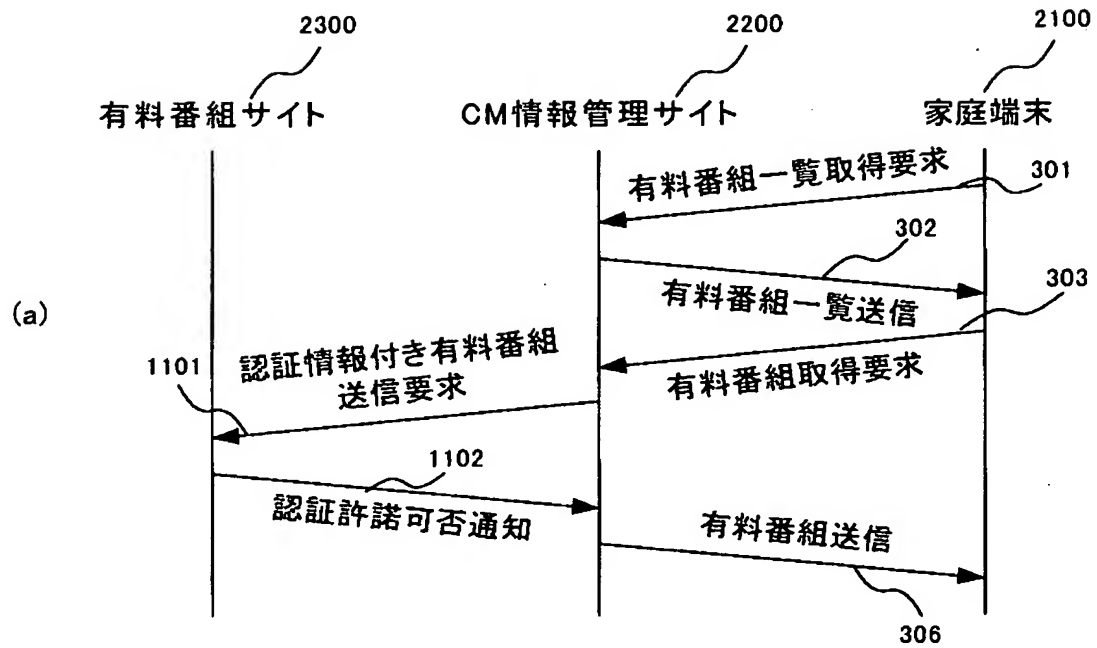
1004 CM名	404 視聴者に提供 した回数	1001 1ポイント 料金	1002 基本 ポイント	1003 広告料
CM1	57	1,000円	10	570,000円
CM2	65		20	1,300,000 円

1000

【図10】



【図 11】



【図 1 2】

(a)

	12001	12002	12003	12004	12005	12006	12007	
	サイトID	パス ワード	配信 形態	配信先	有料 番組名	CM名	CMジャン ル	
	101	*****	携帯電 話	xxx	映画1	CM1	car	12000
						CM2	food	

(b)

	12101	12102	12103	12104	12105	12106	12107	
	サイトID	パス ワード	配信 形態	配信先	有料 番組名	CM名	CMジャン ル	
	101	*****	携帯電 話	xxx	映画1	CM1	car	12100
						CM2	food	
						CM3	non- alcohol	
			インター ネット	xxx	映画2	any	any	
	201	*****	放送波	xxx	映画3	CM3	non- alcohol	
						CM4	アニメ	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 従来の番組放送送受信システムにおいて、有料番組にCM挿入することで視聴料を割り引く際、特殊な機能を持つ送信装置及び受信装置を用意する必要があった。また、有料番組を小売する場合、有料番組が正規でない第三者によって不正に配信される恐れがあった。

【解決手段】 有料番組サイトからの有料番組の入手と視聴された有料番組数に応じた使用料の支払い、及び視聴者へのCM挿入済み有料番組の提供と視聴料の徴収、並びに広告主の参入と視聴されたCM数に応じた広告料の徴収を仲介するCM情報管理サイトを導入する。また、CM情報管理サイトが有料番組の小売を行う際、有料番組サイトによって認証されたときのみ有料番組提供可能とすることで、有料番組が正規でない第三者によって不正に配信されることを防ぐ。

【選択図】 図 1



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 0 5 8 2 1 ]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 8 日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
氏 名	松下電器産業株式会社